

QSK

はまゆう

希望の風だより



社会福祉法人 はまゆう福祉会

〒807-0046

福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11

電話：093-201-6151 FAX：093-201-8151

E-mail：hamayu-honbu@nifty.com

HP：http://www.hamayu-mizumaki.com/

No.9(vol. 36) 2023年5月1日



主な内容

- ☆理事長挨拶..... 1
- ☆斎藤環先生の講演会に参加して、令和4年度【消防訓練】..... 2
- ☆地域活動支援センター【銭太鼓】、趣味の会【お花見】..... 3
- ☆利用者募集、行事案内、「心の電話相談」、他..... 4

理事長挨拶

新緑が目眩しく、風薫る爽やかな季節になりました。

令和2年2月頃から始まったコロナ禍が3年を過ぎ、やっと

この5月から5類に変更され、感染者も少なくなり、少しずつ活気を取り戻しつつあります。



この3年間、感染者も少なく、施設からのクラスターも発生せず乗り越えることができましたのも、すべての関係者の皆様のご努力とご協力のお陰と感謝いたします。

しかしながら、コロナウイルスが消えてはいませんので、今後も感染防止対策をしっかり行いながら運営してまいります。

コロナの影響もあってか、当会の運営状況もじわじわと厳しくなり、前年度は厳しい決算状況となりましたので、事業の効率化と改善を図り、人員配置基準に従って若干の人事異動も行い、令和5年度をスタートしたところであり、お陰様で本年2月頃より利用者さんも増える傾向にあり、通所率も上がり始めました。

また、就労継続支援B型を中心に行っている仕事も安定して入り、利用者さんと職員の頑張り、前年度の利用者の平均工賃月額が上がり、サービスクラス区分も本年度から上がるようになりました。その他職員の専門職資格取得に伴い加算がつく等、増益の要素が増え健全経営に回復する傾向にあります。

昨年に掲げた当会の理念と基本方針(下記)に沿って、職員一丸となって努力している結果ではないかと自負しております。これからも、リカバリーの道を進む利用者さんお一人一人に寄り添いながら、共に進む伴走者として努力してまいります。

そして、利用者さんから「はまゆうに来て良かった。」と喜んでいただける施設でありたいと思っております。

はまゆう福祉会を取り巻くすべての関係者に感謝申し上げ、今後も変わらないご支援とご協力を切にお願いしまして、甚だ簡単ではありますが、紙面にて恐縮ですが、新年度の挨拶にかえさせていただきます。

理念

本法人は、どこまでも利用者のリカバリーを目指し、利用者と共に歩むことを使命とします。

基本方針

1. 私たちは、利用者へ寄り添い、人間性の向上、専門的な知識と技術の研鑽に努めます。
2. 私たちは、職員間の連携と協調を図り、利用者により良い支援の提供ができるように努めます。
3. 私たちは、家族、地域、行政と連携を緊密にして、福祉サービスの充実を図り、社会貢献に努めます。

### 斎藤環先生の講演会に参加して

去る3月4日(日曜日)、ひきこもり診療の第一人者、筑波大学社会精神保健学の斎藤環教授を迎えて、みずまき社会福祉法人ネットワーク(水巻町社会福祉協議会)が主催する講演会が開催されました。

「社会的ひきこもりの定義は、6ヶ月以上社会参加をしていない非精神病的の現象である。外出していても対人関係がない場合はひきこもりと考える。」

この「ひきこもり」という言葉は造語ではなく、アメリカ精神医学会が編纂した中の英語を「和訳」したものと、また、「ひきこもり」は病名ではなく、あくまでも状態をあらわす言葉と教授は述べられています。

ひきこもりは控えめにみても200万人以上いて、年齢層に偏りはなく、万遍なく分散しているといわれました。従来「ひきこもり」は青少年・若年期の問題と考えられてきましたが、その長期化・高年齢化が課題となり、「8050問題」そして親亡き後と深刻化の一途を辿っていると考察されています。

#### 「なぜ人はひきこもりになるのか」

「ひきこもり」に至る原因は多様である。きっかけとしては、成績の低下や受験の失敗、いじめなど様々な挫折体験からはじまることも多いが、原因やきっかけがはっきりしない場合も少なくないと述べられました。

#### 「ひきこもりからの出口とは」

例えば、ひきこもっている人は、たまたま困難な状況にあるまともな人であり、自分自身の状態を肯定的に受け入れ主体的にふるまえるようになることにより、出口が見つかる一歩になるといわれました。

そして、家族は、本人が安心してひきこもれる関係づくりが大切で、覚悟と根気が重要で、つい言ってしまうようになる言葉「怠け」「甘え」「わがまま」などは禁句と示されています。教授は、家族が安心安全な場所であると書われましたが、とても腑に落ちる言葉です。

私どもの施設はまゆうサポートセンター(通所)も利用者や家族の「安心安全な場所」居場所であると考えて寄り添っています。

終わりに、みずまき社会福祉法人ネットワーク(水巻町社会福祉協議会)の取組みに、関係者として心から感謝申し上げます。



### 令和4年度【消防訓練】

本年度の消防訓練を令和5年3月22日(水)に利用者・職員で遠賀郡消防本部と連携を図りながら実施することが出来ました。

はまゆうサポートセンター自衛消防組織に基づき、出火場所を施設内の屋外喫煙所と、出火想定しました。

館内の非常一斉放送を合図に利用者・職員が屋外へ退室し、逃げ遅れた方もなく避難場所である近隣施設の駐車場まで徒歩で移動し無事に点呼終了しました。

避難場所からはまゆうサポートセンターへ戻ると、敷地内の駐車場で、遠賀郡消防本部より借用した水消火器による消火訓練を実施しました。

はじめて水消火器を手にされる方もおられ、緊張感が漂う中で、赤いコーンを火元と想定し、水消火器で水を掛けることが出来ました。

社会福祉施設でも、事業形態に応じて消防署からの指導の中で、消防訓練実施は義務化されており、年に一度の自主訓練を実施する必要があります。

この消防訓練を通して、日頃から火災についての防火意識を高めながら、訓練・体験で身に付けた知識や技能を自己点検しておくことも大切な事であると実感しています。



## 地域活動支援センター【銭太鼓】

地域活動支援センターでは、月に一回、銭太鼓という活動を行っています。銭太鼓は、鳥根県出雲地方の発祥とされており、民俗芸能楽器の一種で、リズム楽器として踊りの伴奏に使用され、形状は30センチ程の筒型で両端に房が付いており、筒の中に入っている数枚の五円玉で音が鳴る仕組みになっています。太鼓のバチの様に2本を使用し、音楽に合わせて振ったり、床をたたいて音を鳴らします。

はまゆうでは、毎月、龍紀久会の先生方に来てもらい、ご指導頂いており、はまゆう以外でも、障がい者施設や高齢者施設、イベント等、幅広いご活躍をされています。龍紀久会では、60〜80代の女性の方が所属しておられ、主にボランティアとして活動をされています。銭太鼓で使用される音楽は、民謡「鹿兒島おはら節」や「きよしのズンドコ節」等の馴染みの曲まで幅広い音楽に合わせて、利用者の方たちも楽しみながら参加をされています。また、リズムに合わせて奏でるだけでなく、「ソーラン節」や「どじょうすくい」等の曲と共に踊りも楽しむことが出来ます。銭太鼓の後には、クラリネット奏者の方にも来て頂き、クラリネットの音色と共に、利用者の方たちが歌いたい曲や季節の曲を合唱し、楽しまれています。

参加する利用者の方の中には、地域活動支援センターを利用される方だけでなく、普段は、就労継続支援B型で作業をされている男性の方や就労継続支援A型として介護施設で清掃の仕事をされている女性の方も居られ、月に一回の銭太鼓の日を楽しみに利用をされています。

今までに、「こころの健康づくり大会等の講演会や施設内のクリスマス会でも披露しており、様々な場所で日頃の成果を発揮され、利用者の方たちの自信や達成感にも繋がっています。音楽を通して、利用者の方たちとのコミュニケーションや交流の場ができ、また、集中すると無心になることが出来る為、日々のストレスや心配事を忘れるきっかけにもなっているようです。



## 趣味の会【お花見】

趣味の会は、利用者の方々に楽しんでいただけるように月二回行っている余暇活動です。

今回は、ちようど桜が咲く三月下旬の開催ということで、瀬板の森公園でのお花見を企画しました。公園の駐車場から遊歩道を1.4キロメートル歩いたところにある「水の丘」で、お弁当やお菓子を食べました。少し距離がありました。皆で話しながら歩く。皆で話しながら歩く。皆で話しながら歩く。

皆さんからは「外で食べるお弁当は美味しいですね」「桜きれいですね」「シートの上で寝そべると気持ちいいですね」との感想が聞かれました。ポカポカ陽気も手伝ってくれ、皆さんもポカポカと温かい笑顔たくさん見せてくださいました。

これからも利用者の方々が楽しむことのできる趣味の会を企画していきたいと思えます。



### 賛助会の御礼

・岡垣町民生委員・児童委員協議会 様

・保護司会 前会長

永淵 静雄 様

当福祉会のはまゆう家族会の賛助会員に加入され、多額の会費をいただきました。

### 寄付の御礼

・はまゆう後援会

(2団体・88名)の皆様

代表 副田泰弘 様

(水巻町民児協前会長)

昨年のはまゆうサポートセンターのクリスマス会に寄付をいただきました。

皆様ありがとうございます。  
ございました。



グループホーム1号館



グループホーム2号館



食事の一例

### 利用者募集

障がい(特に精神中心)をお持ちの方の通所施設!

#### 事業内容

- ①就労継続支援B型
- ②就労移行支援
- ③自立訓練(生活訓練)
- ④地域活動支援センター
- ⑤グループホーム入所施設(男性のみ)



“自然の中の癒しの空間”

社会福祉法人はまゆう福祉会

■はまゆうサポートセンター

遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11

■グループホームはまゆう

遠賀郡岡垣町山田918

☎093-201-6151(担当/坂栗)

### 家族電話相談(福岡県委託事業)

#### 「心の相談電話」のご案内

☎ 家族のための、電話相談受け付けます。☎  
精神障がいのある家族を、家族だけで抱えていませんか?  
同じように悩み、いろいろなことを経験してきた家族が相談に応じます。

**対象者** 心の病(統合失調症、うつ病、発達障がいなど...)を持つ方のご家族。

電話番号 : 080-1729-1955

相談日 : 毎週金曜日

相談時間 : 13:00~16:00

秘密は守ります。地域福祉情報も提供します。

### ★はまゆう家族会賛助会員加入のお願い

はまゆう家族会の活動に、ご理解とご協力をいただける方を募っています。

《年会費》 個人様 1口 3,000円

団体様 1口 10,000円

お申込みは、はまゆうサポートセンター事務局へお問い合わせください。

TEL : 093-201-6151

お願いします



### 行事案内

【令和5年度家族会総会】

\*日時: 6月18日(日)

\*場所: はまゆうサポートセンター

【令和5年度福精連大会】

\*日時: 9月9日(土)

\*場所: 小倉リーセントホテル

【令和5年度福精連  
北九州ブロックスポーツ大会】

\*日時: 10月20日(金)

\*場所: 到津の森公園

新型コロナウイルスの感染拡大の状況などによっては、変更・中止となる場合があります。

### 令和5年度「家族による家族学習会」日程

実施回	月 日	時 間
第1回	8月19日(土)	13:00~16:00
第2回	9月16日(土)	13:00~16:00
第3回	10月28日(土)	13:00~16:00
第4回	11月25日(土)	13:00~16:00
第5回	12月23日(土)	13:00~16:00

【編集】 社会福祉法人はまゆう福祉会 〒807-0046 福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11

【発行】 QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡県福岡市東区社領1丁目12番4号

【定価】 100円 購読料は会費等に含まれます。